

研究協力をお願い

急性・重症患者の回復を促す 看護実践モデル開発と臨床応用への検証

研究の趣旨

急性・重症患者はその治療の場で集中的・多角的なアプローチがなされ、身体の回復はもちろんのこと、精神的な回復が重要視されています。しかし、看護独自のアウトカムとして示される指標は極めて少ないのが実情です。私たちが取り組んだ先行研究で急性・重症患者の回復を促す看護実践の構成要素が明らかになり、それをもとに看護実践モデルを考案しました(下図参照)。今回はその妥当性を検証するために質問紙調査を行いたいと考えています。

方法

調査対象：クリティカルケア領域で働く全国の看護師

調査方法：Webによるアンケート調査

(QRコード、もしくはURLからご入力願います)



URL:<http://urx.mobi/KKz5>

調査内容：クリティカルケア領域における看護実践、促進・阻害要因、評価など

所要時間：約15分

倫理的配慮

本研究は、東京慈恵会医科大学倫理審査委員会の承諾を得ております(30-062)。研究参加の可否については、アンケートの設問でご回答願います。入力されたデータは、サーベイモンキーシステムで保存され、入力した者の匿名化がなされるために、個人が特定されることはありません。また、データは学会などで発表する予定はありますが、その際も個人が特定されることはありません。回答後の研究参加・不参加の撤回については、匿名化されたデータであるため対応しかねる旨をご理解のうえ、ご協力を宜しくお願い致します。

*本研究は、2018年9月24日付で2018年度日本クリティカルケア看護学会から研究助成を受けています。

研究代表者	中村美鈴	(東京慈恵会医科大学)
研究分担者	明石恵子	(名古屋市立大学)
	宇都宮明美	(京都大学大学院)
研究協力者	丸谷幸子	(名古屋市立大学病院)
	吉田紀子	(獨協医科大学病院)
	茂呂悦子	(自治医科大学附属病院)
	松沼早苗	(自治医科大学附属病院)
	町田真弓	(前橋赤十字病院)
	阿久津美代	(自治医科大学附属病院)

問い合わせ先

中村美鈴 (東京慈恵会医科大学)
電話：03-3480-1151 (内線2830)

